

雲南省のきのこ

—平成28年度雲南省交流・連携推進事業—

1 はじめに

岩手県では、技術や商機の発展を目的に、各分野で雲南省と交流を進めています。雲南省は森林・林産資源が豊富なため、林業分野でも連携が期待されます。昨年度はきのこ関係の市場、加工施設、研究機関及び行政機関を訪問しました。今回は雲南省の概要と、市場で目にした野生の食用きのこや料理を紹介します。

2 雲南省の概要

雲南省は中国の南西部に位置し、省都は昆明市です。森林面積は約2千万ha（全国森林面積の8%）、蓄積は約17億m³（同14%）です。緯度は九州と沖縄と同程度ですが、省内の標高差が大きく、南部には熱帯広葉樹林、北西部には亜寒帯針葉樹林が分布します。日本に比べて植生が多様であるため、野生きのこの種類も多く、世界中で食べられている食

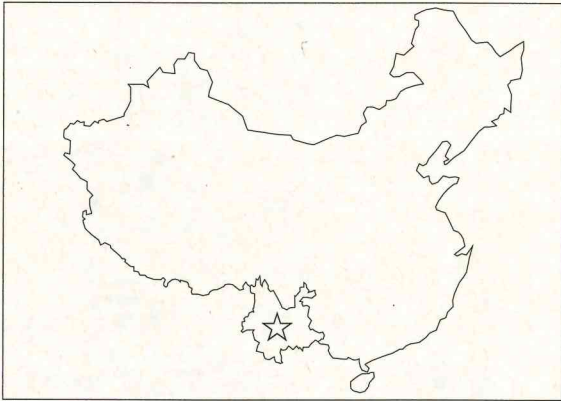
3 市場で見た野生きのこ

「マツタケ」北西部の高山マツや雲南マツ、広葉樹（コナラ属、シイノキ属）の林を中心に発生します。年間生産量は最大で1,600ト（徳欽県）、平均で500ト前後のようです。ほとんどが日本に輸出され、現地の現金収入源となっています。形状や貴重な香りは国産品と変わらず、マツ林産と広葉樹林産の見分けも付きませんでした。

4 代表的な料理

昆明市名物、旬限定の御馳走です。熱いスープに、アミガサタケやヤマドリタケなどの様々なきのこが、次々と入れられていきます。岩手でも広めたいと思わせる逸品でした。

林業技術センター 研究部
成松 眞樹



雲南省の位置



マツタケ



黒トリュフ



雲南きのこ鍋